

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 錦鯉振興会事業活動費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部里川振興課水産係 電話番号：058-272-1111 (内 2913)

E-mail： c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 180 千円 (前年度予算額：180 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	180	0	0	0	0	0	0	0	180
要求額	180	0	0	0	0	0	0	0	180
決定額	180	0	0	0	0	0	0	0	180

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内錦鯉養殖振興のために養殖業者の育成を図り、生産量の拡大と品質の向上を目指す。錦鯉養殖業者の収入は、その生産量だけでなく、品評大会等における評価が影響している。そのため、品評大会の開催は、養殖業者の生産意欲及び品質の向上のみならず、所得の向上にもつながる。

(2) 事業内容

県内の錦鯉養殖業者が飼育した優秀鯉を一堂に集め、岐阜県錦鯉品評大会を開催する。

各地区で開催される品評大会に対する協賛及び指導を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

予算の範囲内で必要と認められた額

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	180	錦鯉振興会事業活動費補助金
合計	180	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

高品質な錦鯉生産及び生産者の意欲向上のため、支援の継続が必要。

(2) 事業主体及びその妥当性

県内の広域において錦鯉振興のため活動している団体への補助であり、県が支援することが妥当。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	錦鯉振興会事業活動費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県錦鯉振興会 (理由) 県内の広域において錦鯉振興のため活動している団体であるため。
補助事業の概要	(目的) 錦鯉の生産、商品開発及び販売促進を図る。 (内容) 岐阜県錦鯉品評大会の開催並びに各地区で開催される品評大会に対する協賛及び指導
補助率・補助単価等	<u>定額</u> ・定率・その他(例:人件費相当額) (内容) 予算の範囲内で必要と認めた額 (理由) 継続的な事業の実施にあたっては、安定した財源が必要であるため。
補助効果	県全体の品評大会を行うことで、養殖業者の意欲を高め、優良錦鯉の作出技術の向上が図られるとともに、販売促進が図られる。
終期の設定	終期 令和4年度 (理由) 養殖業振興団体活動事業実施要領については、3年毎に見直しを行っており、現行の要領による実施期間が上記年度までになっているため。

(事業目標)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H28年度末)	目標 (R4年度末)	目標 (終期)
①品評大会への出品数	146	150	150

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績		(予算額) 180千円	(予算額) 180千円	※コロナウイルス感染拡大防止により大会中止	(要求額) 180千円
指標①目標	※台風により大会中止	150	150		150
指標①実績		119	110		(推計値)
指標①達成率		79.3%	73.3%		(推計値) %

(前年度の成果)

- ・岐阜県錦鯉振興会を構成する、各地域の錦鯉振興会の会員が高齢化し、会員数が減少している。
- ・前年度は、コロナウイルス感染拡大防止のため県農業フェスティバルが中止となったため、会場が確保できず、品評会は取りやめとなった。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項
農業フェスティバル会場以外の開催場所について、検討が必要であるが、整地された土地、展示用プールに注水する水の確保、開催費の増大など、代替えとなる場所の確保が困難である。

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	本事業の補助対象は、県レベルでの錦鯉品評会であり、今後とも県として補助していくことが必要である。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	出品数も安定し、農業フェスティバルと同時開催することで、一般の見学者も多く。錦鯉のよい宣伝になっている。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	岐阜県錦鯉品評会自体は50回行われており、効率化は十分に図られている。

(事業の見直し検討)

県レベルでの錦鯉品評会は業界の振興を図るうえで必要であると考えられるが、振興会のみ予算で現在の規模の品評会を開くことは困難である。従って、補助金の縮小、廃止はできない。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止
(理由)
県レベルでの錦鯉の品評会は本大会以外にはなく、今後とも県として支援していくことが必要である。